

<トピックス> 流入人口が多い市への流入元を探ってみると

愛知県内の市町村別に15歳以上就業者・15歳以上通学者の流入人口をみると、飛び抜けて多いのは名古屋市で50万2840人、次いで豊田市9万2604人、刈谷市7万3669人、小牧市5万8175人、安城市5万3872人などとなっています。

[表A参照]

表A 15歳以上就業者・15歳以上通学者の流入人口 上位5市（平成27年）

(単位:人)

順位	市	15歳以上就業者・通学者の 流入人口
1	名古屋市	502,840
2	豊田市	92,604
3	刈谷市	73,669
4	小牧市	58,175
5	安城市	53,872

資料:平成27年国勢調査

上記の流入人口上位5市について、愛知県内のどこの市町村から流入しているか、流入元をみてみると、上位5市は、以下の表Bのとおりとなっています。

[表B、図A参照]

表B 流入人口上位5市への15歳以上就業者・15歳以上通学者の流入元 上位5市（平成27年）

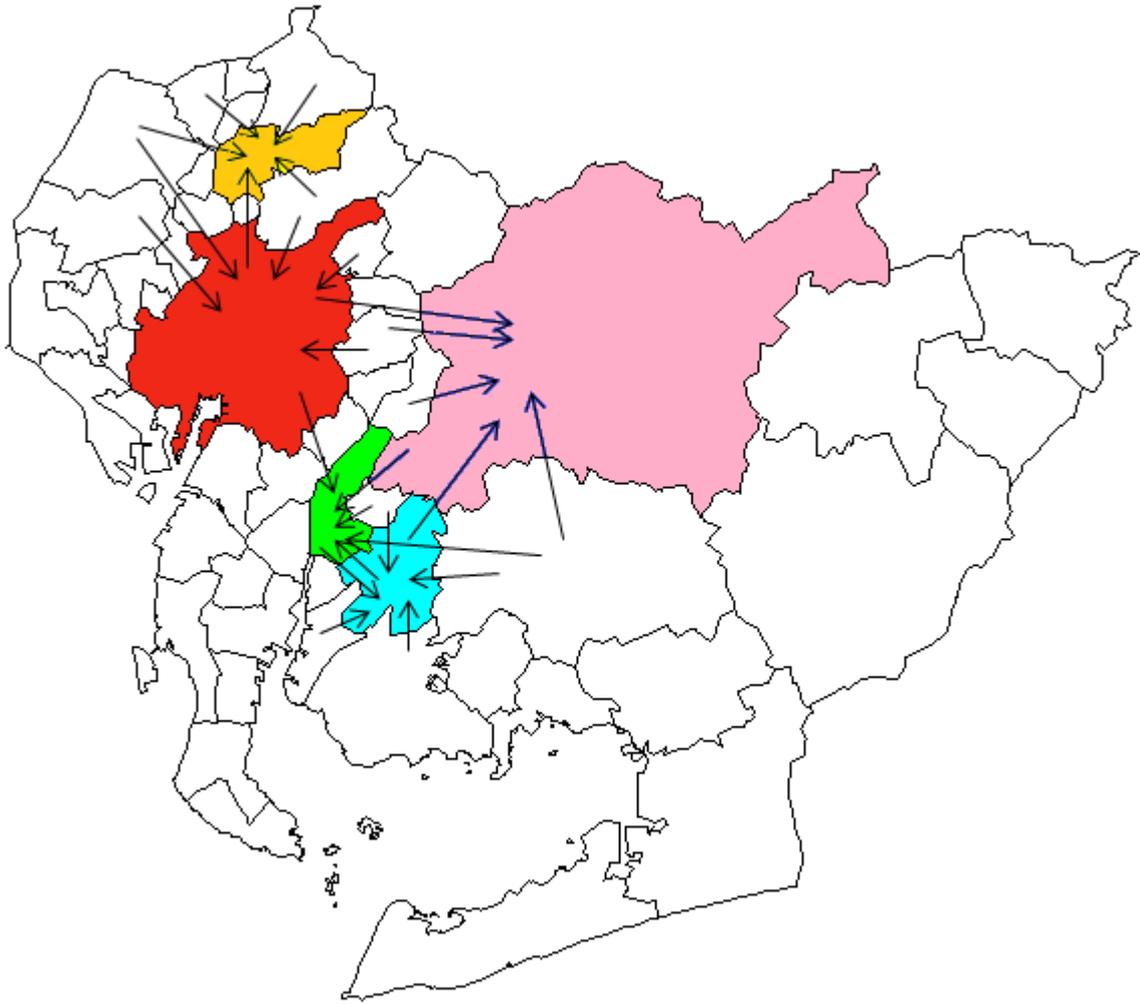
(単位:人、%)				(単位:人、%)			
順位	名古屋市への 流入元	名古屋市への 流入人口	名古屋市の流入 人口に占める 割合	順位	豊田市への 流入元	豊田市への 流入人口	豊田市の流入 人口に占める 割合
1	春日井市	42,311	8.4	1	岡崎市	18,246	19.7
2	一宮市	31,808	6.3	2	名古屋市	15,972	17.2
3	日進市	16,869	3.4	3	みよし市	10,227	11.0
4	尾張旭市	15,666	3.1	4	安城市	5,404	5.8
5	稲沢市	15,595	3.1	5	日進市	4,933	5.3

順位	刈谷市への 流入元	刈谷市への 流入人口	刈谷市の流入 人口に占める 割合	順位	小牧市への 流入元	小牧市への 流入人口	小牧市の流入 人口に占める 割合
1	名古屋市	11,994	16.3	1	春日井市	11,535	19.8
2	安城市	8,548	11.6	2	名古屋市	9,648	16.6
3	知立市	7,398	10.0	3	一宮市	4,996	8.6
4	岡崎市	5,590	7.6	4	犬山市	4,778	8.2
5	豊田市	5,123	7.0	5	江南市	4,109	7.1

順位	安城市への 流入元	安城市への 流入人口	安城市の流入 人口に占める 割合
1	岡崎市	11,339	21.0
2	西尾市	7,649	14.2
3	刈谷市	6,290	11.7
4	知立市	4,217	7.8
5	碧南市	3,870	7.2

資料:平成27年国勢調査

図A 流入人口上位5市の15歳以上就業者・15歳以上通学者の流入（平成27年）



資料:平成27年国勢調査

人口流入の面からみると、名古屋市は、人口が流入する一方、豊田市、刈谷市及び小牧市への主な人口流入元となっています。

豊田市、刈谷市及び安城市は、三者間で人口流入・流出関係が成り立っています。

岡崎市は豊田市、刈谷市及び安城市への主な人口流入元であり、知立市は刈谷市及び安城市への主な人口流入元です。

また、春日井市及び一宮市は、名古屋市及び小牧市への主な人口流入元です。